

会 議 録

1 事業名	令和8年度 第1回 海南市人権施策推進委員会
2 開催日時	令和8年4月23日(木) 9:00~9:50
3 開催場所	海南市役所 3階 3A会議室
4 参加者	<p>海南市人権施策推進委員14名（別紙名簿参照） 神出市長、大浦市民交流課長、岩田班長、辻主任</p> <p style="text-align: right;">計 18名</p>
5 内 容	<p>1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委員及び事務局の紹介（紹介後、市長退席） 4. 議事</p> <p>(1) 委員長・副委員長の選出について (2) 第5次人権施策推進行動計画・男女共同参画基本計画の策定について (3) 市民意識調査・事業所調査について (4) その他</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 委員長・副委員長の選出について 委員互選により 小阪享委員長、前山哲雄副委員長を選出 小阪委員長挨拶 以降、議長として進行</p> <p>(2) 第5次人権施策推進行動計画・男女共同参画基本計画の策定について 事務局より概要説明</p> <p><質問・意見等></p> <p>(金川委員)</p> <p>【資料4】P2の2) 成果指標の状況について、事務局からは「市議会等での指摘もあり、見直す」旨の説明があったが、どのような指摘であったのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>⇒かいなん人権フェスティバルなど、行事参加者数はその日程や内容、天候によっても変動するため、それだけをもって判断するのはどうかという観点での指摘であった。</p>

6 主な発言

(金川委員)

単発のイベントで判断するのはという指摘は理解できる。ただし、学識的には、このような成果指標を設定する場合、インプット（労力等の投入量）、アウトプット（人数等の算出量）、アウトカム（変化量）のいずれかを設定することが多い。この場合、指標自身を削除するのではなくて、参加者の増加率などに置き換えてどうか。また、アウトプット自体も重要であると考えているので、申し述べておく。

(妻木委員)

スケジュールの説明中、既にグループインタビューを何回か実施されたとのことだが、具体的には、どのように進められたのか教えていただきたい。

(事務局)

⇒先日、総会が実施された5団体において、聞き取りをさせていただいた。事前にご提示していた「人権について昔から変わったと思われること」や「活動の中で懸念されている事項」などを中心に話を聞いている。総会の参加者は10名程度のところが多く、活発な意見交換ができたと感じている。

(妻木委員)

グループインタビューはどれぐらいの時間をかけているのか。

(事務局)

⇒1団体あたり30分～50分程度でお話をお聞きした。

(3) 市民意識調査・事業所調査について

事務局より概要説明

<質問・意見等>

(金川委員)

アンケートについては、前回との比較ができることが重要であるので、その点では問題ないと思います。また、量的な制約もありますが、見やすさという点でも配慮されていると思う。前回から追加した部分の確認だが、問24、問27、問28でよいか。

(事務局)

⇒その通りである。

(神出委員)

例えば、問8のような質問に対して、1人の人の意識がどのように変わったか把握することはできないのか。

(事務局)

⇒アンケートの2,000名は無記名でランダムに抽出しています。前回のアンケートにもお答えいただいた方が今回も抽出されるかもしれませんが、こちらではわからないため、把握はできません。

(4) その他

(小坂委員)

次回はアンケート結果が提示されるのか。

(事務局)

⇒それらも含め、計画のたたき台をご提示する予定です。
10月頃の開催を予定しているが、日程確定次第ご連絡します。

閉会 9:50